

震災ボランティア派遣 FAX通信21

2011年8月12日



週末ボランティアもOK!

各組合・地域労連

御中

青森県労働組合総連合

青森市大野字若宮 165-19

TEL 017-762-6234、FAX 017-729-2186

メール ao110@kenrouren.jp

【発信者】事務局長 有馬美恵

高教組菊池亘子さんの感想

8月3日（水）～5日（金）までの3日間、岩手県大船渡市でボランティア活動を行いました。震災発生から4ヶ月過ぎ、大船渡市までの内陸の道路を通行しているときは、震災の面影なくいつもと変わらぬ日常生活が繰り広げられていました。そして、道路沿いにいくつかの「災害支援ありがとう」の看板を眼にすると、復興はかなり進んだのだろうと思っていました。しかし、県労連で手配していただいた崎浜漁港の近くの民宿に入り、その周辺を歩いてみると瓦礫の山はたくさんあり、震災の傷跡を目の当たりにして、衝撃を受けました。まだ復興は始まったばかりだということを実感しました。

ボランティアは、写真の洗浄の手伝いと、水産会社のパレットの洗浄を行いました。特に写真の洗浄は、流された写真をアルバムからはがして乾燥させるところから始まります。多くの写真は結婚式や子供の誕生、学校への入学や卒業を記念して撮影されたものがほとんどで、アルバムの写真は人生の一部であると思いました。これから長く続く復興支援活動にわずかでも関わることが、普通に繰り返される日常生活がいかに大切なことであるかに改めて気付くきっかけとなりました。

また、遠く広島や愛知などからボランティアに来た全労連の方々と一緒に活動できたことは、働くものとしての「絆」の大切さを感じました。崎浜漁港に掲げられている「1歩ずつ前へ」の標語を胸に、機会があれば、またこの地を訪れてみたいと、心を残しながら、ボランティアを終えました。

ボランティアチーム「全労連」。愛知、広島、神奈川、東京、秋田、青森と各都道府県から集まりました。赤いビブスがユニホームです。

